



環境だより

VOL.
13

編集/発行: 2013. 8. 1 唐津市生活環境対策課 TEL 0955-72-9175

平成25年6月28日(金) 町田川清掃を実施しました

町田川清掃ご協力ありがとうございました



今回で30回目を迎える町田川清掃。5時過ぎからごみ回収車で市内を回りましたが、多くの地区でご近所同士が会話をしながら町田川を清掃されていました。その姿を見ていると清掃活動が地域の親睦を深めることに一役買っているのかなと感じました。

多くの方々に清掃活動に参加していただいたおかげで、今年もたくさんのごみが回収できました。皆さん本当にお疲れ様でした。



今回回収されたごみは、可燃物1,850kg、不燃物850kg、計2,700kg。昨年よりも500kg多い回収量でした。



きれいな川を守るために

直接ごみを拾うだけでなく、家庭での生活排水をできるだけ少なくすることも河川の美化につながります。

家庭でできる生活排水対策

①使い終わった食用油を捨てる場合は、排水溝等に流さず、市役所の廃油回収BOXに出す。



③米のとぎ汁は、1回目の濃いものだけでも庭の木や畑にまいて利用する。



②洗剤・シャンプーなどは使いすぎないようにする。



④調理くずや食べ残しが排水溝に流れてしまわないように、水切り袋などを活用する。



地球温暖化

最近あまり聞かなくなった「地球温暖化」という言葉。でも、子ども達に変わらない自然環境と動植物を残すためにも、今年の夏はもう一度地球温暖化について考えてみませんか？

そもそも地球温暖化とは

地球温暖化は二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などの温室効果ガスが太陽からの熱を吸収して、地球を暖めてしまうために起こる現象です。特に温室効果ガスの中でも二酸化炭素の割合は大きく、地球温暖化を悪化させている温室効果ガスの約7割が二酸化炭素です。



温暖化の影響

日本の年平均気温は過去100年間で約1℃上昇しました。今後温暖化が進めば、世界の年平均気温は2℃～4℃上昇すると言われています。地球の温暖化が進むと、大きな洪水や干ばつ等の自然災害が増え、南極や北極の氷が溶けて、小さな島などは沈んでしまいます。また、今まで収穫できていた作物が穫れなくなったり、生き物が環境の変化に耐えられずに絶滅してしまうかもしれません。



私たちにできること

家庭から出る二酸化炭素の量は1年間で約5トンにもなり、その原因の50%近くが電気が原因で発生しています。節電を進めることが家庭での地球温暖化対策になります。

家庭でできる節電対策

- ①クーラーの使いすぎはやめて、適正な温度設定を心がける。



- ②冷蔵庫の冷気の吹き出し口や吸い込み口は物でふさがないようにする。庫内を整理してドアはしっかり閉める。



- ③炊飯ジャーの保温をやめて、ご飯は電子レンジを使って温める。



- ④人のいない部屋の電気は消し、使っていない家電のコンセントを抜く。



外来生物に注意！

佐賀県では以下の生物たちを野外に「放つ」、「植栽する」、「種子をまく」ことが禁止されています。きれいな花に見えても、繁殖させることが禁止されている植物であったり、日本の在来種だと思っていた生物が規制を受けている外来種であったということもあります。外来生物が野外に拡散しないようご協力をお願いします。



ブルーギル



オオクチバス



ミシシippアカガメ
(ミドリガメ)



オオキンケイギク



オオカワヂシャ



ミズヒマワリ



狂犬病の予防注射を受けましょう



狂犬病の予防注射を受けましょう。飼い主は犬の登録をし、年に1回、飼い犬に予防注射を受けさせることが法律によって義務づけられています。

犬の飼い主の皆さんへ

犬を取得したら、犬の登録をしましょう。そして年一回、動物病院や集合注射などで狂犬病の予防注射を受けさせてください。
※登録をする際に発行する鑑札を犬に首輪につけておくとう迷子になったとき、飼い主さんを見つけるのにも役立ちます。

狂犬病とは？

狂犬病ウイルスを病原体とする感染症です。感染した動物に噛まれるなどして、人間にも感染します。発症後の有効な治療法が確立されておらず、発症すると致死率はほぼ100%。そのため、予防注射を確実に実施し、感染、流行を予防することが重要だとされています。



～ごみの出し方～



毎日家庭で出すごみ。でも、「これはどうやって捨てればいいのか？」っていうことが意外にありませんか？今回は皆様からのご質問の多いごみの出し方について説明します。

Q. 電子レンジやオーブンなどはどうやって捨てたらいいいですか？

A. 燃えないごみ袋に入る大きさだったら、燃えないごみになります。袋に入らない大きさなら粗大ごみになります。

Q. 雨が降っているけど、新聞紙や、ダンボールは資源物の日に出していいの？

A. 雨が降っていても紙類は出せます。ただし、衣類やカーテンなどは雨の日には出せません。

Q. 布団はどうやって捨てたらいいいですか？

A. 布団の出し方は2通りあります。はさみで切れる場合、50センチ四方に切って燃えるごみに出してください。はさみで切れない場合は、粗大ごみとして出してください。100円券1枚で布団2枚まで出すことができます。

Q. 自転車を捨てたいのですが、どうしたらいいですか？

A. 自転車が防犯登録してあるのなら管轄の警察署に電話して防犯登録を解除して、粗大ごみとして出してください。防犯登録がしてないなら、そのまま粗大ごみとして出してください。

Q. 100円ライターが余っているんですが、どうやって処分したらいいですか？

A. ガス抜きをしてから、燃えないごみとして出します。ガス抜きの手順は、まず風通しのよい屋外で、ライターを点けます。火をすぐに吹き消して、ガムテープなどでレバーを固定します。シューという音がしたら、ガス抜きが正しくおこなわれています。この状態で半日から1日放置します。ガス抜きを実施される場合は、周囲に火の気がないことを確認してください。

Q. 飲食店を経営しているのですが、調理くずや弁当がらなどが入ったごみ袋を回収車が持って行ってくれませんか。なぜですか？

A. お店など事業所で出たごみは市では回収できません。一般廃棄物処理業者に回収を依頼してください。

ごみは自分達の住んでいる地域の決められた場所に適切に出しましょう。

